

## 2022 年度事業報告書

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

一般社団法人熊本県自転車競技連盟

### 1 2022 年の成果

九州チャレンジサイクルロードレース以外は、予め計画した「年間計画」の通り、事業を実施することができた。

今年度より「HSR 九州サイクルロードレース」の大会を HSR 九州だけでなく、九州に属するサーキット場を使用したロードレース、「九州サーキットシリーズ」へとアップデートし、開催した。また、同大会で初めての試みとして、サーキット内でのタイムトライアル（希望者）も実施した。会場が HSR 九州の場合、ある程度の見込み数を確保できたが、大分県の SPA 直入やオートポリスでは、会場地が遠方になるためか、うまく集客を見込めず、開催の中止となった。様々な会場で続けて開催できるよう、次年度は大会開催の宣伝や営業など周知したらどのくらい集客できるか、また HSR 九州以外での開催地の希望がどのくらいあるのかを調査し、開催に努めたいと思う。

トラック競技においては、昨年に引き続き熊本県だけでなく福岡県と合同に実施し、他県の選手との競技力向上を図った。しかしながら、運営における経済的側面からみると、参加者がロード競技ほど多くはないため自己資金で補うのは厳しく、次年度は近隣の佐賀県や長崎県などに合同開催の提案を行い、参加人数を増やすとともに選手同士のコミュニケーションや競ることでの競技力向上、また他県役員との審判講習会などを目標に進めたい。

ロード競技においては、「熊本地震復興祈念阿蘇パノラマラインヒルクライム」や「九州豪雨災害復興祈念ツアーオブ九州」をメインに、災害地をコースにすることで、その地域に選手や大会関係者、観客などを送客することができ、経済貢献や観戦による町の活気、メディアを通しての宣伝など微力ではあるが自転車競技を通して地域に貢献できた。コロナ禍でもあり、参加チームは多少減ったものの、選手や監督などからは大会に関して高評価を頂いた。次年度以降は国内の高校生だけでなく、隣国などを招待し、国際的発展をしたレースにゆくゆくはしていきたい。

### 2 2022 年度事業

(1) 公益財団法人 JKA に関する事業

- ①熊本県・福岡県自転車競技選手権大会トラック・レース
- ②熊本県・福岡県自転車競技選手権大会ロード・レース
- ③全九州高等学校自転車競技新人大会トラック・ロードレース
- ④九州チャレンジサイクルロードレース（中止）
- ⑤熊本地震復興祈念阿蘇パノラマラインヒルクライム
- ⑥九州サーキットシリーズ
- ⑦九州豪雨災害復興祈念「ツアーオブ九州」全国ジュニアステージロードレース

(2) 公益財団法人熊本県スポーツ協会に関する事業

①競技者強化育成事業

強化練習会、国民体育大会に向けた強化練習会や合宿等を開催した。

(3) 競技会・イベント等の企画立案運営・派遣事業

県内主催大会・イベント企画運営のほか、令和4年度全九州高等学校自転車競技大会や2022年九州選手権自転車競技大会、令和4年度全国高等学校選抜自転車競技大会などの各種イベント（スポーツ以外のイベントも含む）へ役員を派遣し運営に協力した。

(4) スポーツ情報の提供

県内外の自転車競技に係る情報を収集し、ホームページに掲載し、発信した。

ホームページアドレス <http://kumamoto.cf.jp/index.html>

(5) その他事業

①連盟保有の機材・備品等の貸し出しを行った。

②会計処理について、その適正化・透明化を図り、運営の効率化を目指した。

③代表選手の選考・派遣、役員の派遣等を行った。